

# 香川県循環型社会推進計画(第2章第1節4「食品ロス」)の概要【計画期間:令和8年度～令和12年度】

## 1 現状と課題

■ 全国における食品ロスの量(令和5年度)は、年間464万トンと推計され、資源の浪費、処理コストの増加や焼却処理によるCO2排出など環境負荷の増加につながっているほか、食料の多くを海外からの輸入に依存している日本の状況を踏まえると、食品ロスの削減に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

■ 食品ロスを削減するためには、食品の製造、販売、消費に至る一連のサプライチェーンにおいて、食品廃棄物の発生抑制の取組みを推進していくことが最も重要であるが、県民一人ひとりが食品ロスが発生している現状を認識し、まだ食べることができる食品については、できるだけ食品として活用し、食品ロスを削減していくことが重要。

■ 食品ロス削減推進法の趣旨を踏まえ、本項を香川県食品ロス削減推進計画として位置付け、本県の食品ロスの削減を総合的かつ計画的に推進する。

### ◆ 全国の状況(令和5年度)

年間464万トン(一人一日当たり約102g)

【発生源】家庭系:233万トン(50.2%)

事業系:231万トン(49.8%)

### ◆ 香川県の状況(令和5年度)

年間25,476トン(一人一日当たり約75.4g)

【発生源】家庭系:12,276トン(48.2%)

事業系:13,200トン(51.8%)

- ・本県における食品ロス発生量は年間25,476トン
- ・家庭系と事業系の割合は、全国とほぼ同じ。
- ・家庭系については、直接廃棄(手付かず食品)の割合が高い。
- ・事業系については、外食産業において食品廃棄物に占める食品ロスの割合が高く、小売業において事業系全体に占める割合が全国に比べ高い。

### 食品ロス発生量の推計(令和5年度)

		香川県 (R5年度)	全国 (R5年度)	香川県の割合 又は全国比
家庭系 食品ロス	発生量	12,276 t	2,330,000 t	0.5%
	一人一日当たり	36.3 g	51 g	▲14.7 g
事業系 食品ロス	発生量	13,200 t	2,310,000 t	0.6%
	一人一日当たり	39.1 g	51 g	▲11.9 g
合計	発生量	25,476 t	4,640,000 t	0.5%
	一人一日当たり	75.4 g	102 g	▲26.6 g

## 2 主な取組内容

### ■ 教育や普及啓発の推進

#### i 教育及び学習の振興、普及啓発等

スマート・フードライフ、市町と連携した普及啓発、出前講座、SNS等の活用など

#### ii 表彰制度

優れた取組みや先進的な事例に対する表彰制度

#### iii 実態調査等の推進

実態調査、県民へのアンケート調査等の実施

#### iv フードドライブ活動への支援等

フードドライブ活動への理解促進、資材の貸出など

### ■ 事業者における取組みの推進

#### i 事業者の取組みに対する支援

かがわ食品ロス削減協力店制度、事業者と連携した取組み、セミナー等の実施など

#### ii 実態把握及び先進的事例等に関する情報収集と情報提供

取組事例の情報収集、多様な主体への情報提供など

#### iii フードドライブ活動への支援等

事業者とフードバンク団体との関係構築に向けた支援

## 3 指標

### ■ 食品ロスの削減目標

#### ① 食品ロスの発生量

25,476トン(R5) ⇒ 22,200トン(R12)

#### ② 食品ロスの一人一日あたり発生量

75.4g(R5) ⇒ 68g(R12)

### ■ その他の目標

③ 食品ロス問題を認知して削減に取り組んでいると答えた人の割合  
80%以上(R12)

#### ④ かがわ食品ロス削減協力店制度登録店舗数

433店舗(R6) ⇒ 増加



(香川県食品ロス削減推進キャラクター「たるる」)